

防災と福祉～日常と災害は連動する～

災害に「も」強い福祉のまちづくり事業

活動地域: 北区、大宮学区

活動時期: 2010年4月～



発表団体名:

佛教大学地域福祉フィールドワーク 大宮へいこう!
(大宮防災と福祉のまちづくり応援隊)

連携メンバー:

自主防災会・大宮学区社会福祉協議会・自治会連合会・
大宮文化振興会・児童館・北区役所・管内関係機関等

京都市北区大宮学区では、災害に「も」強い福祉のまちづくりを進めていくため、地域の方とともに地域福祉活動、地域防災活動を実施しています。大宮学区では、災害時にも対応ができるよう、日常からの見守り、助け合い活動を促進するため、「大宮ほっとかへんで運動」を展開していますが、この中で本学も近隣支援者として、独居高齢者等の見守り活動に参加しています。また、地域で実施される防災訓練への協力や2か月に一度開催される「本のリサイクル市」、「ふれあい夏祭り」等に参加しながら日常からの地域活動団体や行政機関、関係機関等とのネットワーク化や協働・連携活動の重要性について学んでいます。その他、2018年度は管内の西賀茂中学校での防災学習の実施や西賀茂児童館等での防災講座を実施しました。

そして、私たちは災害が起きるたびに災害を「他人事」にはせず、自分たちには何が出来るかを考え、2018年8月からは2018年7月西日本豪雨災害で被害を受けた広島県三原市へ災害ボランティアとして赴き、被災した子どもたちの支援の活動を継続的に行っています。こうした活動を通じて、私たち「大宮防災と福祉のまちづくり応援隊」は日常と災害の連動性や災害時におけるソーシャルワークについて学んでいます。

動画もチェックしてね!



(主な活動)



大宮ほっとかへんで運動の近隣支援者として活動に参加し、定期的な独居高齢者宅の訪問活動を実施。



大宮学区における行事、イベントへ参加協力する中で、協働・連携の重要性を学んでいます。



大宮学区総合防災訓練への参加協力。災害時を想定した避難所運営のノウハウ、視点を学びます。



学区内の児童館や中学校において、児童・生徒を対象とした防災学習・教育の取り組みを実施。



2018年大阪北部地震における被災地支援活動。吹田市災害ボランティアセンターでの支援活動に参加。



2018年7月西日本豪雨災害における被災地支援活動。広島県三原市における子ども支援を展開中。